

三條市子ども・若者総合サポートシステム 平成 22 年度活動実績・平成 23 年度活動計画 【全 体】

《平成 22 年度活動実績》

1 子ども・若者総合サポートシステム把握状況

被虐待、問題行動等の問題がある子ども及びシステム登録希望者について、子育て支援課・学校教育課間の情報の共有を図り、子どもの支援情報の一元化、データベース化を行った。

＜子ども・若者総合サポートシステム把握件数＞ (平成 23 年 3 月末現在)

区分	虐待	非行	不登校	障がい	ひきこもり (若者)	実人数
人数 (人)	102 (21)	36 (9)	85 (8)	268 (17)	3 (1)	494 (58)

※ () については、他の区分を重複している件数

(再掲)「個人情報の取扱いに関する同意書」提出件数

※障がい・ひきこもり(若者)の区分について、本人または保護者より「個人情報の取扱いに関する同意書」提出してもらうこととしている。

区分	虐待	非行	不登校	障がい	ひきこもり (若者)	実人数
人数 (人)			3	36	3	42

2 子ども・若者総合サポート会議開催状況

会議名	回	月 日	場 所	内 容 等	参加 機関数
代表者会議	第 1 回	5 月 28 日	三條市役所 栄 庁舎	(1) 子ども・若者総合サポートシステムについて (2) 関係機関・組織における取組について (3) 三條市子ども・若者総合サポートシステムの今後の進め方について	28機関
	第 2 回	11 月 4 日	三條市役所 栄 庁舎	(1) 支援機関マップについて (2) 実務者会議のあり方について	26機関
実務者会議	計 4 回	虐待支援部会	1 回	各部会活動実績参照	
		問題行動対応部会	(合同)		
		障がい支援部会	1 回		
		若者支援部会	2 回		
個別ケース 検討会議	延 42 回	各部会活動実績参照			

3 周知活動

内 容 等		実施月
対象者：新たに三条市に赴任した教職員 内 容：面識式にて、サポートシステムについて説明		4月
対象者：市内保育所（園）、幼稚園、小中学校及び特別支援学校に通う子どもをもつ保護者 内 容：総合サポートシステム及び「すまいるファイル」についてのチラシの配布		7月
		9月
		12月
		2月
対象者：平成22年度市内中学校卒業予定生徒の保護者 内 容：各中学校の進路説明会時に総合サポートシステムについて説明		11月
内 容：内閣府へ市長を派遣		10月
内 容：政策研究大学院大学で市長講師として講演		2月
視察来条 全国市町村議会 11 議会 その他 3 件	職員派遣 3件 訪問調査 1件	

4 研修会・講演会

会議名	月 日	場 所	内 容 等	参加人数
子どもの虐待防止講演会			虐待防止部会活動実績参照	
子どもの虐待防止専門研修会			虐待防止部会活動実績参照	
発達応援セミナー			障がい支援部会活動実績参照	
ユースアドバイザー研修会			若者支援部会活動実績参照	
子ども・若者総合サポート全国大会 in 三条	1月21日 (金)	燕三条地場産業振興センター リサーチコア7階 マルチメディアホール	(1)事例発表：三鷹市、松江市、三条市 (2)パネルディスカッション テーマ「子ども・若者を総合的にサポートする行政の在り方について」 (敬称略) (独) 国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育情報センター総括研究員 梅田真理 内閣府 政策統括官（共生社会政策担当）付参事官（青少年支援担当）西沢立志 文部科学省 初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育企画官 横井理夫 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課 発達障害支援専門官 日詰正文 三条市長 國定勇人 対象者：各都道府県担当者 市内小中学校特別支援教育コーディネーター 保育所（園）・幼稚園教員、小中学校教員 子ども・若者総合サポート会議代表者・障がい支援部会実務担当者・若者支援部会実務担当者	176名

5 すまいるファイルについて

(1) すまいるファイル配布状況

(平成23年3月末現在)

配布対象	配布数 (部)
H22年度出生児・転入児の保護者	772
配布希望者	81
計	853

(2) すまいるファイルアンケート調査

活用の実態及び内容等への意見を把握し、今後の活用推進を図るため、また、より使い勝手のよいファイルを作成するため、アンケート調査を実施した。

①実施内容

a. 対象者

ア 平成20年度以降出生児の保護者 (以下、「ア 出生児」)

イ 配付希望の保護者・子ども発達相談室通室児の保護者全員 (以下、「イ 希望者」)

b. 実施時期

平成22年9月～11月

c. 実施方法

ア 出生児

10か月児相談会案内・1歳6か月健診案内と同時に健康推進員が配布し、相談会・健診時に回収

イ 希望者

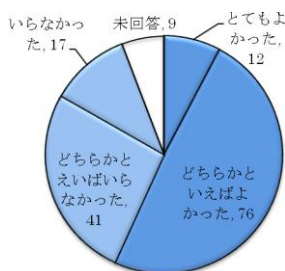
保育所(園)、幼稚園、小中学校、月ヶ岡養護学校、発達相談室を通して配布し、各所属先を通して回収

②アンケート結果

回収率 ア 平成20年度以降出生児の保護者 63.5% (155/244)

イ 配付希望の保護者・子ども発達相談室通室児の保護者全員 49.6% (137/276)

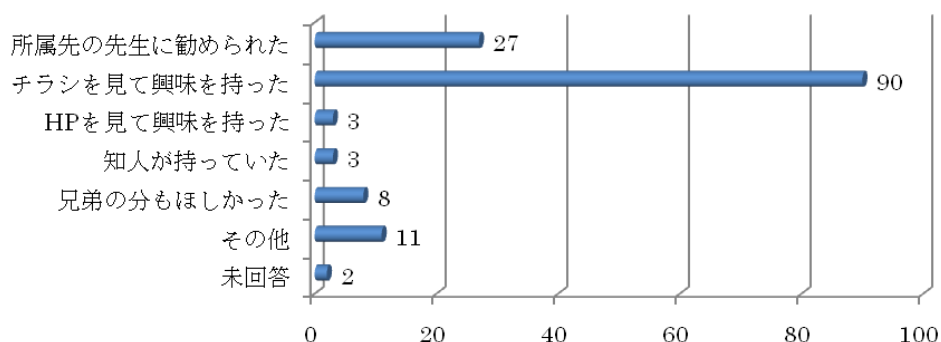
a. すまいるファイルを受け取ったときの感想 (人) (ア 出生児のみ)



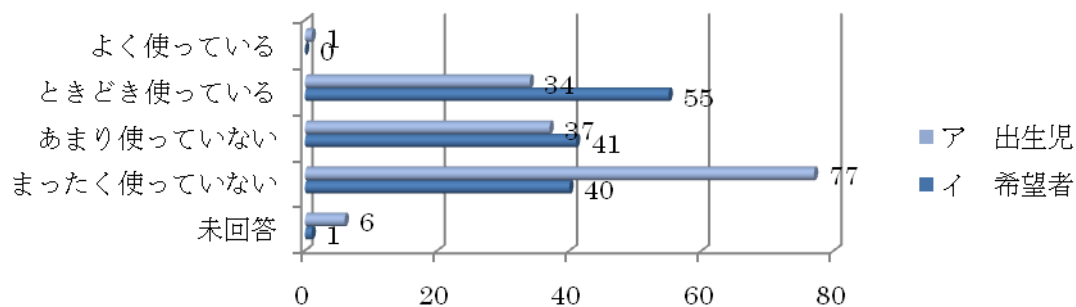
「どちらかといえばよかった」「いらなかった」を選んだ理由

- ・大きい、重たくて使いにくい
- ・育児日記などは別のもの書いている
- ・使わない、あまり使わない
- ・母子手帳に同じようなことを書いているから など

b. すまいるファイルを希望した理由 (人) (イ 希望者のみ)



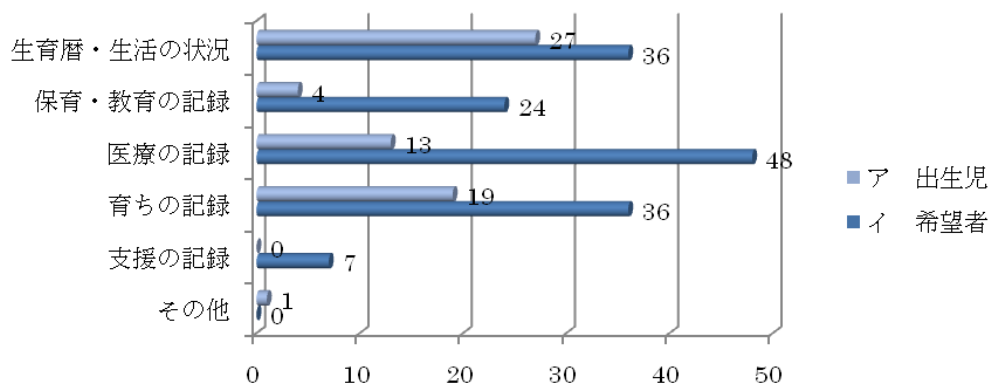
c. すまいるファイルを使っているか (人)



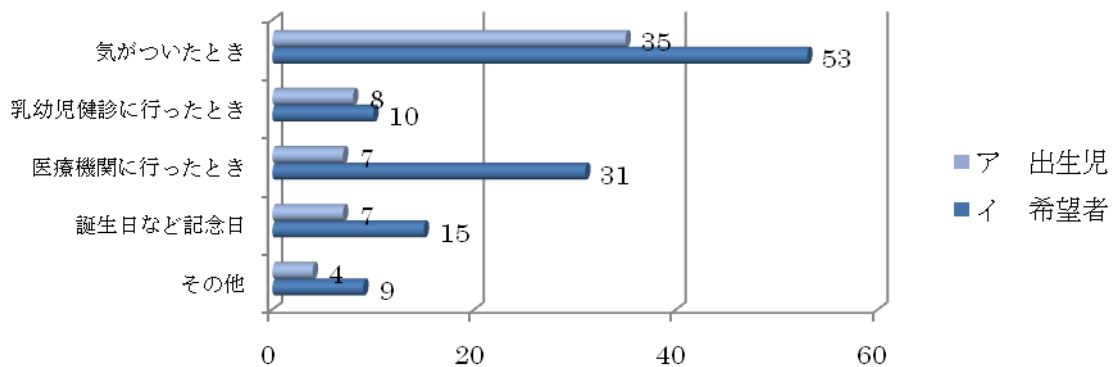
「あまり使っていない」「使っていない」を選んだ理由

- ・別のものに育児日記を書いている
- ・母子健康手帳で十分
- ・忙しくて、書く・見る時間がない
- ・大きすぎ・厚すぎで使いにくい
- など

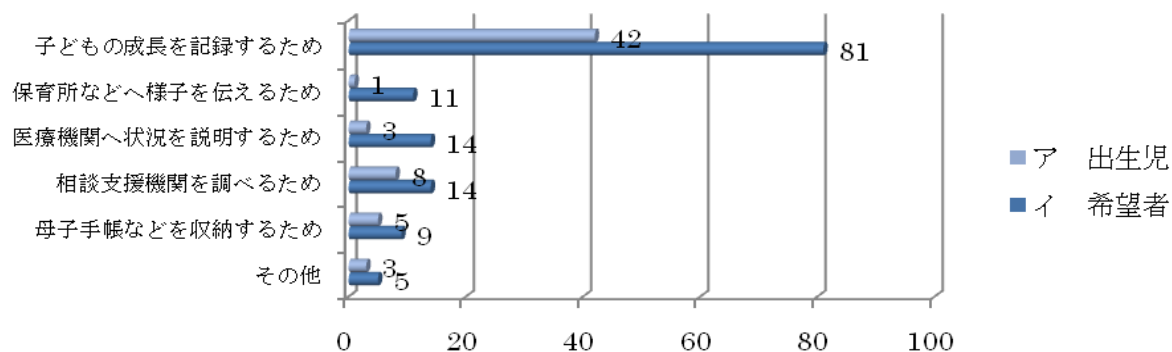
d. 記入しているページ (複数回答) (人)



e. どんな時に記入しているか (人)



f. すまいるファイルをどのように活用・利用しているか (複数回答) (人)



6 成果・課題

活動の成果	活動から見てきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・「個人情報の取扱いに関する同意書」を提出していたケースについて、支援体制の検討を継続して行う仕組みを整備した。 ・子ども・若者総合サポート全国大会 in 三条の開催により、全国の先進自治体での取組を数多くの関係者が学ぶことができた。 ・すまいるファイルについては、アンケート調査により、活用の実態及び内容等への意見を把握することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各機関の連携をより有機的に機能させるため、実務者に対する周知活動が必要である。 ・対象者に対して、「子ども・若者総合サポートシステムに登録すれば、なんでもやってくれる」といったような誤解を抱かせがちであったため、的確で正しい周知活動が必要である。 ・今までの周知活動では、高等学校卒業後の若者をフォローできていなかったため、高等学校に対しての周知活動を強化していく必要がある。 ・すまいるファイルについてはアンケートの結果から、実際に支援が必要になった時に活用できるファイルを目指すため、よりたくさんの方が活用・記入しやすいファイルにしていく必要がある。 子育て支援課で行っている乳幼児健診やこんにちは赤ちゃん訪問ですまいるファイルの書き方や活用方法について周知し、活用の定着を図る必要がある。 保育所などでの活用方法の検討を行い、活用を促進する必要がある。

《平成 23 年度活動計画》

1 子ども・若者総合サポート会議開催計画

会議名	回	月 日	場 所	内 容 等
代表者会議	第1回	6月30日	三条市役所 栄庁舎	(1) 子ども・若者総合サポートシステム【全体・各部会】 平成 22 年度活動実績・平成 23 年度活動計画について (2) 関係機関・組織における 平成 22 年度活動実績・平成 23 年度活動計画について
実務者会議	計 6 回	虐待支援部会	2 回	各部会活動計画参照
		問題行動対応部会	1 回	
		障がい支援部会	2 回	
		若者支援部会	1 回	
個別ケース 検討会議	随時			各部会活動計画参照

2 子ども・若者総合サポートシステムの周知拡大

(1) 関係機関に対する周知活動の充実

- ・新たに三条市に赴任してきた教職員に対し、面識式にて総合サポートシステムについて周知
- ・その他、各部会活動計画参照

(2) 市民に対する的確な周知活動

- ・保育所（園）、幼稚園、小中学校へのチラシ配布（夏休み前、春休み前の2回実施予定）
- ・その他、各部会活動計画参照

3 すまいるファイルについて

(1) すまいるファイル見直し

アンケート結果を活かし、下記の点に留意してすまいるファイルの見直しを図る。

課題	内容変更・方法
使い勝手が悪い、内容がわかりづらい	成長段階に応じた構成に変更
活用方法がわからない	活用例の掲載
育児に関する情報があると良い	育児に関する一言アドバイスの掲載
自由に記載できる欄があると良い	自由記載できるページの追加
子どもを評価しているようである	育児が前向きになれるような内容を追加（育児に関する一言アドバイスの掲載）
支援の記録は不要である	健常児でも使える内容を盛り込む
重い、厚すぎて使いにくい	紙の厚さを変更
記入するところが多すぎる	記入事項の精査
大きすぎて持ち運びが不便	ファイル全体を持ち歩くのではなく、必要な時に必要なページを持ち歩くよう周知

(2) すまいるファイルの記入・活用方法の周知

- ・母子健康事業に従事する看護師、助産師、保健師への周知
- ・活用方法の周知チラシの作成
- ・保育所入所前や就学期での活用について検討（教育委員会内）
- ・実務者会議（障がい支援部会）での活用の検討